

第1回森吉山麓高原自然再生協議会議事録

日 時 平成17年7月19日（火）

13:30～16:00

場 所 奥森吉青少年野外活動基地
青少年野外活動センター

13:00～14:30まで事業予定地を視察。その後協議会を開始。

司会 本日はお忙しい中御出席いただき、ありがとうございます。本日司会を勤めさせていただきます自然保護課課長の今野と申します。それでは、まだ現在仮称ではありますが第1回森吉山麓高原自然再生協議会を開会したいと思います。最初に生活環境文化部次長石山より御挨拶申し上げます。

次長 挨拶

司会 それでは本日出席の方々と事務方の御紹介をしたいと思います。
(以下委員、事務局、オブザーバーの紹介)

司会 本日は第1回目の森吉山麓高原自然再生協議会（仮称）となりますが、まず森吉山麓高原自然再生事業について御説明してから、協議会の設置について討議していただいたほうが良いかと思えます。本日オブザーバーとしてですが、環境省の自然再生事業担当の高須賀係長が御出席されております。高須賀係長が自然再生事業について説明して頂けるということなので、お願いしたいと思います。

高須賀 説明

司会 次に自然保護課の長谷部から、森吉山麓高原自然再生事業について説明申し上げます。

長谷部 説明

司会 以上ご説明差し上げた内容により、森吉山麓高原自然再生協議会として事業の内容について御検討頂きたいと思えますが、当方で検討会の設置要綱の案を作成しております。これについて再度長谷部からご説明します。

長谷部 説明

司会 森吉山麓高原自然再生事業と、それに付随する森吉山麓高原自然再生協議会につ

いてご説明しましたが、御意見等ないでしょうか。

(意見無し)

司会 御意見等なければ、同意いただいたということで、設置要綱に基づき森吉山麓高原自然再生協議会を設置させて頂きたいと思います。それでは改めて森吉山麓高原自然再生協議会としてスタートしたいと思いますが、まず最初に会長を決める必要があります。委員の皆様からの御推薦がありましたらお願いしたいと思いますが、如何でしょうか。

小林委員が会長に推される

司会 小林氏が会長に推薦されました、他に御推薦はないでしょうか。なければ小林先生に会長をお願いしたいと思いますが、小林先生宜しいでしょうか。

小林 皆様の意見を活発に出していただいて、やって行きたいと思います。

司会 小林先生有難うございました。それでは要綱に従いまして、議事を小林会長にお願いしたいと思います。
また、その前に副会長を会長からご指名いただきたいと思います。

会長 蒔田委員を副会長に指名

司会 予定の4時になりました。今日の目的は現地を見ていただくことと、協議会を正式に立ち上げることの2つがありました。二つの目的は達成されました。もしこの場で御意見ありましたらお願いします。会長の方から進行をお願いします。

会長 何かありましたら。

委員 種子を取るという事業があるようですが、誰がどのようにとるのでしょうか。第2回の協議会まで持っていくわけにはいかないと思うので。

事務局 第2回の協議会は9月下旬位に考えています。その頃には動かなければいけないと思うので、それまでに連絡して実行させて頂きたいと思います。本来時間を取ってお話させて頂きたかったのですが、時間が延びてしまいまして申し訳ございません。

委員 会の代表として出席していますが、私が都合の悪いときは、代理の者が出席しても宜しいでしょうか。

事務局 大丈夫です。

委員 今日現地を見て最後のところで種子が15m程飛ぶとのことでしたが、その外にイタヤカエデがかなり生えています。ブナのみこだわることなのか、他の広葉樹も対象にするのか方向付けしておいたほうが良いのではないかと思います。

事務局 ブナを表に出しすぎて、ブナだけと思われたかと思いますが、資料を読んでもいただければ、「ブナを主体とした広葉樹林」としていて、ブナだけではなく他の種類も対象にしています。先ほどの説明でも樹種を選ばなければならないという所がありました。そのような所ではブナだけでは上手く行かないだろうと思っています。

委員 種子が落ちて更新するところはそのまま放っておけば林になると思いますが、更新しない所にこうゆうことをやっていこうということが趣旨だと思います。5年という期間を区切ってやっているのは無理ではないか。もっと長い20年、30年あるいは50年という長い期間でものを作った方が良いのではないのでしょうか。

事務局 県が予算を集中的に投入して行うのが5年と考えています。ただし5年たったならそれで終わりというのではなく、先ほどの説明で、5年終わった後も続けていける体制が大事だという話がありましたが、5年というのは予算を集中して投下するだけでなく、その後も続けていける体制づくりの期間と考えています。全体構想を立てていく目標は5年というものではなく、10年先、50年先というものが出てくると思います。

委員 ここで第12回日本ジャンボリーを開催しましたが、北秋田市になってまたジャンボリーに手を挙げようかという話がちらほら出てきてます。それとの絡みはないですか。

事務局 今初めて伺いました。

委員 北秋田市の中の話ですので。ここに来る道路もしょっちゅう壊れるし、立派な道路を作ってもらえるかなという思いもあるでしょうし。

事務局 今初めて聞きましたので、情報収集に努めて行きたいと思います。

委員 県有地とのことですが、現在牧草地として放牧されています。それとの関係はどのようなのでしょうか。

事務局 現在北と南の一部を牧場として北秋田市に貸しています。再生事業をするから明日から使わないでくださいというのも無理があると思います。そのあたりは北秋田市と調整する必要があると思います。

委員 放牧地の関係を次回まで詰めて欲しい。山取りするのか、種子をまくのか、やり方によって全然違う。やり方を決めて欲しい。事業規模が見えない。スタートとゴールが見えないと出来ない。次に詰めて欲しい。

会長 次回以降全体構想に入っていきますが、息の長い事業になります。孫子、曾孫頃にやっと見えてくるようなものです。開発は人間の社会の時間でできますが、森林の再生は自然の時間でいくしかない。森林を人が作るのではなくて、自然が作るのを人が手伝うということです。5年をかけて将来をどうしていくかということをしっかり詰めていくという気持ちで協議会を運営して行きたいと思います。皆さんも意見を沢山出して頂いてそれが今言った方向に収斂するように、次回も宜しくお願いします。

司会 これで第1回目終了ですが、今日御意見を出されなかった方、御質問の有る方、事務局のほうへお寄せください。長時間の御討議有難うございました。